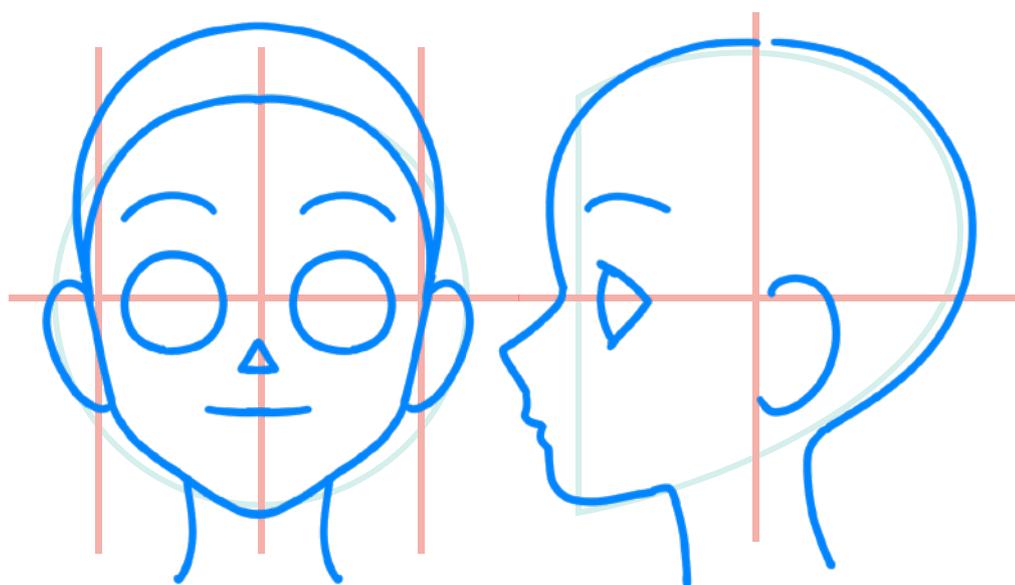


03

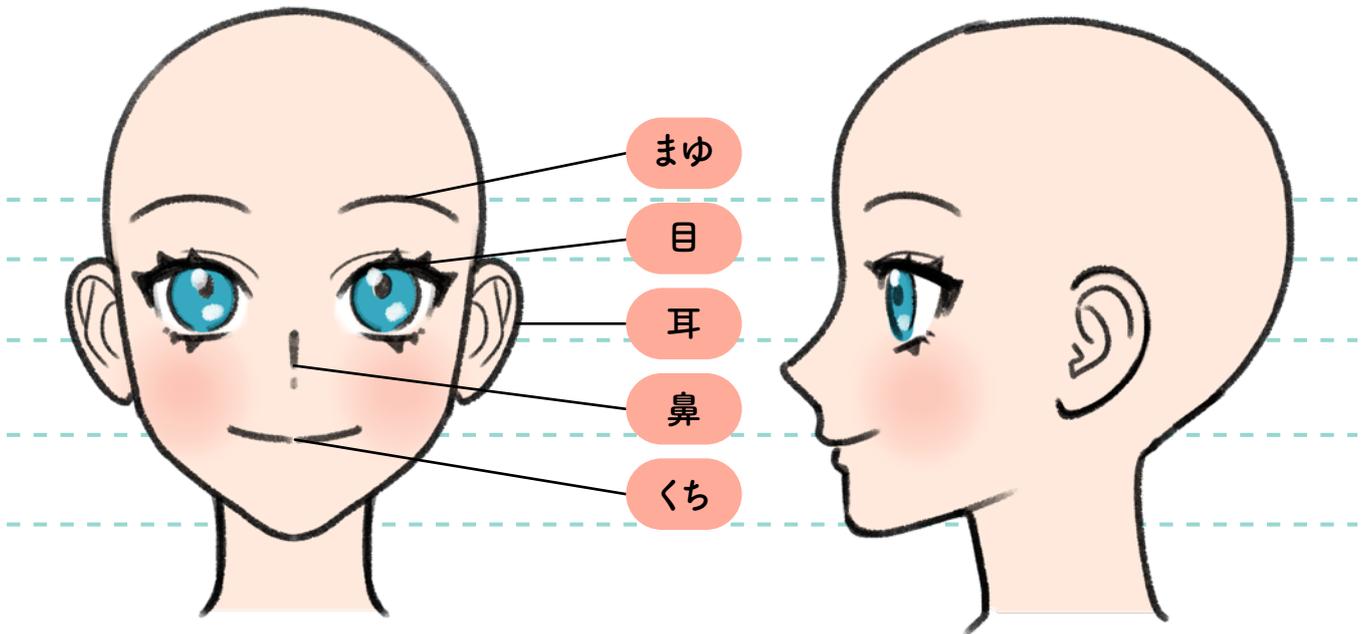
バランスのよい 顔を描く



線や図形を使って顔のアタリをとろう！

顔のパーツの位置を知ろう！

顔のパーツの大きさや位置は、人によってさまざまです。
 ただし、**顔のパーツ自体の位置関係(いちかんけい)はほとんど変わりません。**
 このワークでは、目や口など、顔のパーツの位置を確認しながら、
 バランスの良い顔を描く方法を学んでいきます。



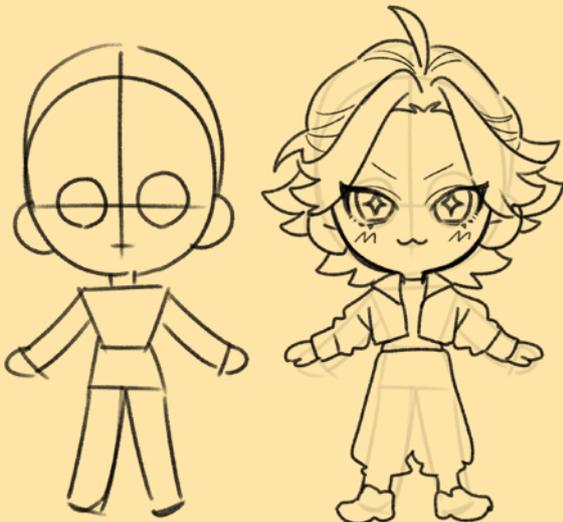
このステップで

学べること

アタリを使った
 バランスのいい顔の描き方



アタリって大事！



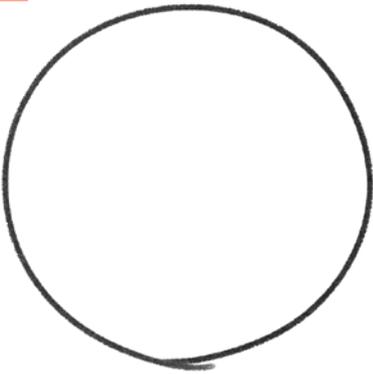
前回のワークでもお伝えしたように、「アタリをとる」とは、絵を描くとき、まず、はじめにどのパーツがどのあたり(アタリ)にくるのかをおおまかに描くことを言います。アタリを下じきにしてイラストを描くと、全体のバランスが整いやすくなります。今回は顔に注目して、顔のアタリをとる方法を説明していきます。

線や図形を使って顔のアタリをとろう！

正面からみた顔のアタリをとる

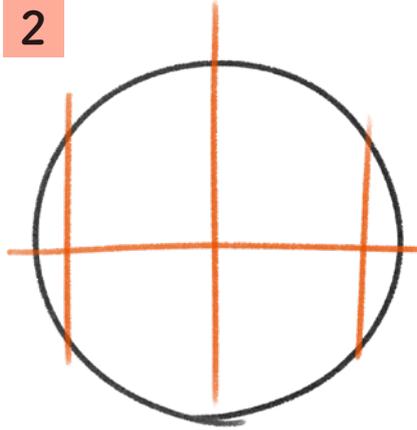
顔のパーツをバランスよく配置するために、アタリを活用します。
 かんたんな線や図形をつかってアタリをとる手順(てじゅん)の一例を説明します。

1



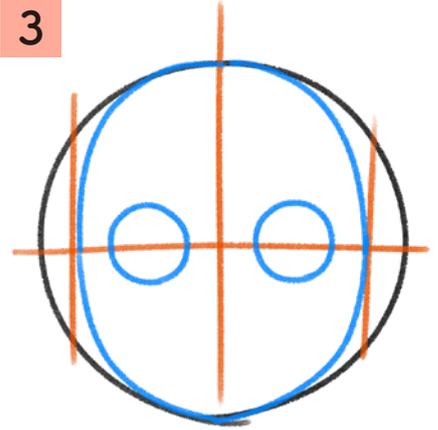
まんまるの正円を描きます。
 このなかに、ひたいからあごまでの顔のパーツを入れていきます。

2



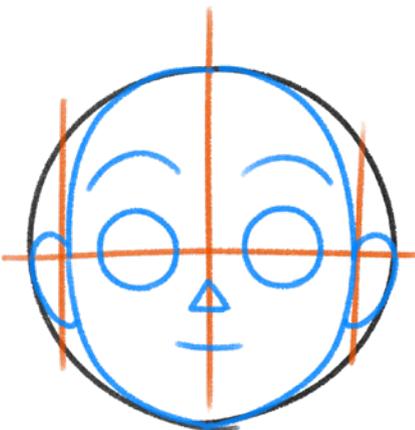
正円のちょうどまんなかに、十字の線を描きます。
 円の内側、両はしにもタテの線をいれておきましょう。

3



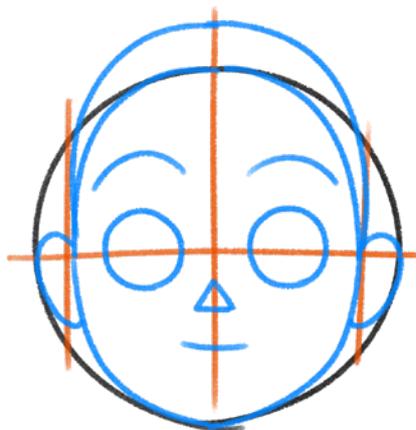
ヨコの線の上に、左右対象となるように、丸く目のアタリをとります。ひたいからあごまでのりんかくも描きます。

4



まゆ、鼻、口のアタリをとります。

5



あたまのてっぺんまでのアタリをとります。ひたいの線から、少しだけ上にずらした線を引いてください。

6



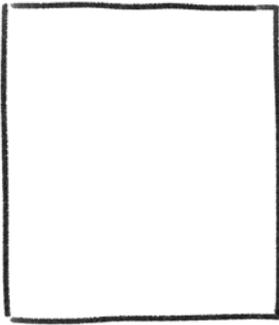
顔のアタリのできあがりです。アタリを下描きにして、顔を完成させてみましょう。

線や図形を使って顔のアタリをとろう!

ナナメからみた顔のアタリをとる

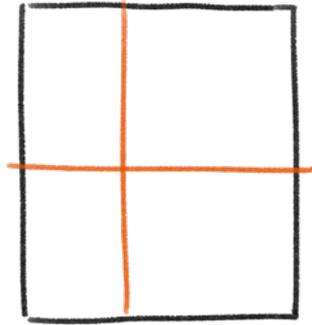
顔のパーツの位置がわかってきたら、こんどはヨコ向きにすこしずつ角度を変えた顔を描いてみましょう。

1



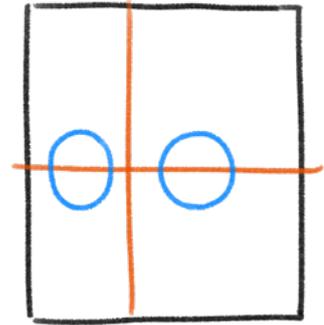
少しだけタテに長い、四角いアタリをとります。ここに、あごからひたいまでの顔のパーツを入れていきます。

2



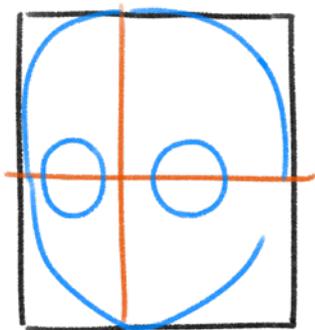
十字線のタテ線は中心から少しずらします。今回は左向きの顔をかくので、中心からすこし左にずらしました。右向きの顔をかくときは、右にずらします。

3



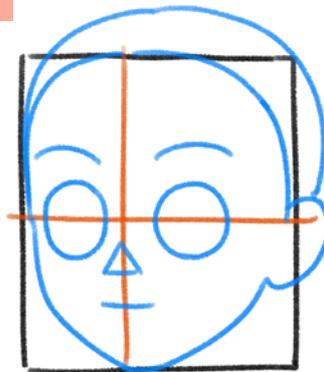
ヨコ線の上に目のアタリをとります。角度を変えたことで目に奥行きがうまれたため、左右で幅を変えます。奥にある目の幅を小さくしてください。

4



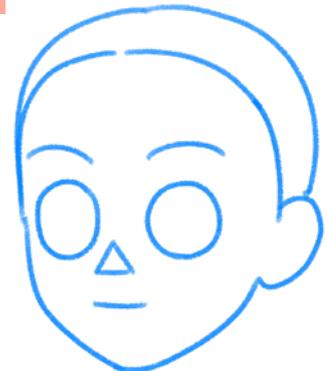
りんかくを描きます。四角と十字線が交わることを頂点にするイメージで、ひたいからあごまで描いていきます。あごは少しとがらせませす。

5



耳、鼻、口、まゆを描いたら、頭の線を描きます。後頭部(こうとうぶ)が耳の後ろから少し見えるように描きましょう。

6



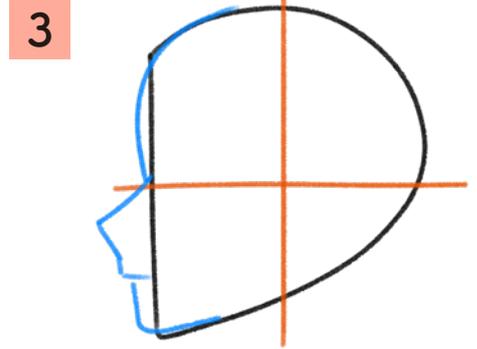
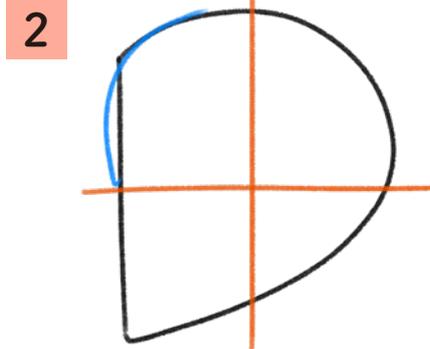
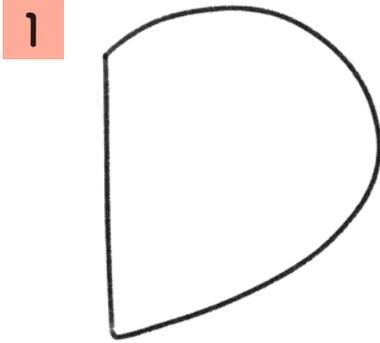
ナナメからみた顔のアタリのできあがりです。アタリを下描きにして、顔を完成させてみましょう。

線や図形を使って顔のアタリをとろう！

横顔のアタリをとる

ま横から顔を見たときのアタリをとります。

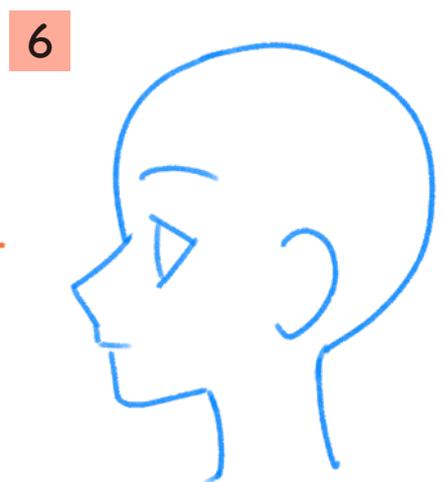
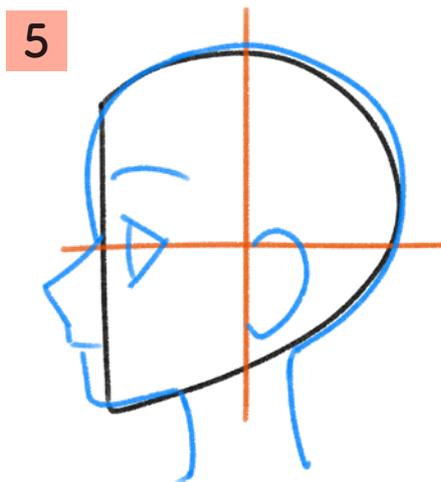
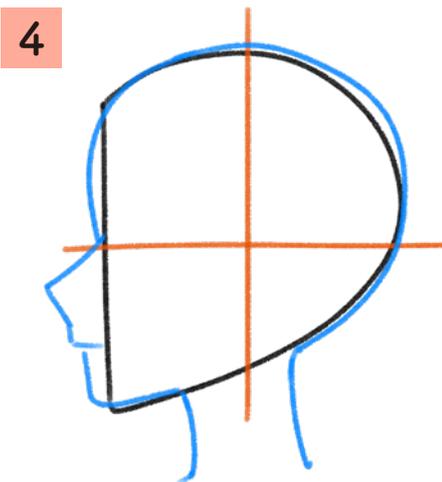
横顔は、正面の顔に比べて目やあごの形などの変化が大きいです。



アルファベットの「D」や、半分になったハートマークのような図形を描きます。図形の中心に十字の線を引きます。

左がわのタテ線のうえに、ひたいになる線を描きます。ひたいはまっすぐではないので、少し丸くカーブさせましょう。

ヨコ線の下半分に、鼻と口、あごを描いていきます。あごは「D」の線よりも少し外がわになるように描き入れていきます。



「D」の線をなぞるように、後頭部(こうとうぶ)の線を描いていきます。うなじまで線を引いたら、十字線を軸(じく)にして首を描きます。

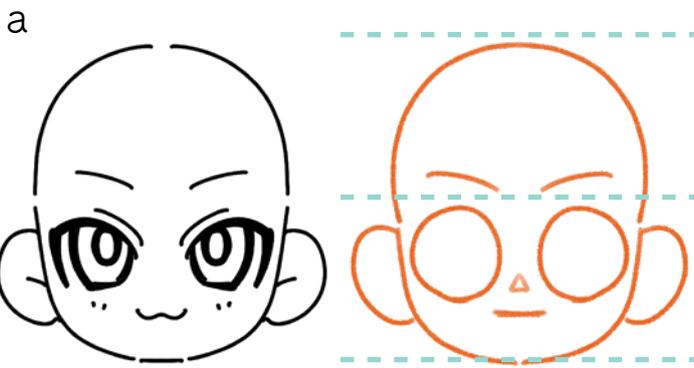
目はヨコ線の上に、三角のおうぎ形になるように入れます。そのうえにまゆを描きます。耳は付け根が十字線の中心に来るようにしましょう。

横顔のアタリのできあがりです。アタリを下描きにしてイラストを完成させましょう！

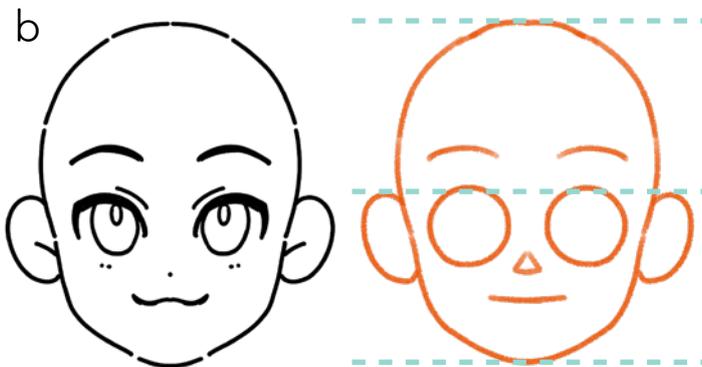
アタリを下じきに顔を描いてみよう!

顔のバランスいろいろ

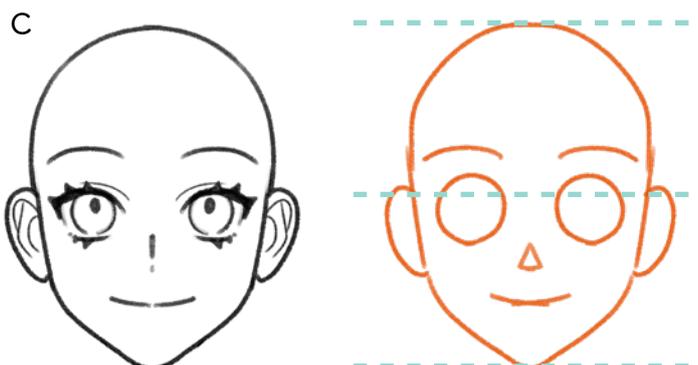
顔のりんかく、顔のパーツのおおきさ、配置を少しづつ変えたイラストを用意しました。
オレンジ色の線は、そのときに使用したアタリです。
アタリをとるときに、どんな顔を描きたいかイメージしておくと、
さらに理想のバランスに近づけるでしょう。



りんかくはまるく、目は大きい。
顔のパーツは真ん中より下に集まっているイラストです。
ミニキャラや子どもを描くときにおすすめのバランスです。



上のイラストに比べてりんかくは少しまるく、ほほやあごのラインがやや角ばっている。顔のパーツはやや上に集まっているイラストです。
アニメタッチのイラストを描くときにおすすめのバランスです。



上のイラストに比べてりんかくは少し角ばっていて、あごの先は細い。目は小さく、顔のパーツは上に集まっているイラストです。
リアルタッチのイラストやおとなを描くときにおすすめのバランスです。